

2014年度 第2回理事会議事録

日時：2014年5月29日（木）17:00～18:35

場所：三菱重工業本社 15F 会議室

構成理事現在数：18名（理事会成立定足数は過半数10名）

出席理事：大宮、加藤、出馬、室田、松林、土屋、渡辺、樫尾、池上、水野、岩田、米沢、
伊藤、鈴木（恵）、古川、市川、（出席16名）

欠席理事：鈴木（勉）、廣瀬（欠席2名）

出席監事：高木

欠席監事：桑畑

事務局：滝沢

書記：松井

（審議事項）

1. 前回2014年度第1回議事録の件（滝沢事務局長）

滝沢事務局長から説明があり、異議なく承認された。

2. 入会承認の件（庶務理事 松林理事）

松林理事より2014年度の会員数の状況の説明があった。

2014年4月1日から2014年5月19日までは21人純増で、現在、会員数は2108人である。新会員の入会を承認した。

3. 2014年度委員会体制の件（滝沢事務局長）

各担当理事・事務局より説明があり、異議なく承認された。但し、「OR誌編集委員会」に不備があり、次回再度修正版を提出することとした。

4. 2014年度対外委員体制の件（渉外理事 伊藤理事）

伊藤理事より説明があり、異議なく承認された。

5. 2014年度第1回ORセミナー収支とアンケート結果の件（研究普及理事 樫尾理事）

樫尾理事より49名の参加で11万円の収入があり、第2回ORセミナーを検討中であると報告があった。第1回は非会員の学生の参加者が多数いたため、学会入会勧誘の仕組み作りの提案があった。

アンケートのより詳細な分析を試みてはとの意見が寄せられた。

上記等を含めて7月理事会に「第2回ORセミナー」計画案を提出予定。

6. 2014年度春季発表会・シンポジウム収支結果の件（研究普及理事→代理 滝沢事務局長）

滝沢事務局長より、大阪大学にて開催され、222万円の収入、131万円の支出で、収支90万円であったとの報告があった。

7. 2014年度学会賞（秋季表彰その1）の件（表彰理事 加藤代表理事）

加藤理事より、表彰者の紹介があり、問題なく承認された。

別件だが、JORSJ 論文のレベルアップへの課題提起があった。活性化委員会活動を通じて議論して行く、とした。

8. 「活性化委員会」の今後の進め方（代表理事・事務局）

滝沢事務局長より、新体制は委員長の室田副会長と出馬副会長以外は、委員会発足時の委員が留任しているとの説明があった。委員会では、学生年会会費無料化、研究部会活動費の倍増、支部事業費増額、研究発表会でのアプリケーション発表増等が実施されている。新体制が承認された。

室田委員長より、来月 6 月 9 日に委員会を開催、目標等をブレイクダウンして、各理事・委員会に検討依頼する予定であるとの説明があった。また、2017 年の 60 周年に向けて、会員の裾野を広げたいとの挨拶があった。

（報告事項）

9. 2016 年研究発表会開催地の件（研究普及理事→代理 滝沢事務局長）

滝沢事務局長より、2015 年春季研究発表会は東京理科大（神楽坂）に決定しているが、2016 年春季研究発表会開催地は未定との説明があった。東京地区の大学別会員数や非開催年数が記載されたデータを参考に、後日、研究普及委員会にて候補地選定を予定している。

10. 「ISORA2014」延期の件（研究普及理事→代理 滝沢事務局長）

滝沢事務局長より、ISORA2014 は OR 学会秋季研究発表会と日程が重なり、開催延期となったとの報告があったが、結局 今年度は中止となったとのこと。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2014 年度 第 2 回理事会

議事録署名人

議長（会長） 代表理事 大宮 英明

（副会長） 代表理事 加藤 直樹

（副会長） 代表理事 出馬 弘昭

（副会長） 代表理事 室田 一雄

監 事 高木 英明